

ごあいさつ

公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会 委員長

矢 澤 猛



本年もまた、ここ広島広域公園テニスコートにて第32回全国実業団対抗テニストーナメントが開催されます。全国制覇を狙う大きな本大会が、広島市での永年に亘る様々なテニス大会開催経験をされている高橋ディレクターをはじめ、地元テニス協会の皆さんのおかげで本大会運営組織も円滑に動き、活気ある充実したイベントに成長してきたことを嬉しく思うと同時に大変感謝しております。特に本年度9月には同会場では初めての花キューピットジャパン・ウイメンズ・オープンが開催されました。多忙なスケジュールでお疲れの中、運営に携わる関係者の皆さんに改めてお礼申し上げます。来年も広島市にて本大会の開催を予定して頂いておりますので、出場されます各チーム、応援の皆様、広島県テニス協会の皆様、並びに本大会の運営に協力頂いております各関係者の皆様と共に、本大会を価値ある素晴らしいスポーツの大会に育てていきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

各地域での予選を見事勝ち抜き、この全国大会にお集まりいただきました皆様に、その努力と成果に対して祝意を表すと同時に、本大会に於きましても日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、優勝を目指して日本リーグ出場権を獲得できるよう頑張っていたいただきたいと思います。特に本年度は大坂なおみ選手のUSオープン優勝という素晴らしい活躍があり、錦織選手の活躍と共に、普段テニスをされない方々の関心も深まっております。応援以外の観客数も増えることが予想されますので、正々堂々と戦い、観客を魅了させる素晴らしいプレーを見せていただきたいと思います。

昨年も書かせていただきましたが、実業団委員会では長年に亘りフェアプレイ精神についてお話しさせていただいており、更に日本テニス協会として具体的なセルフジャッジ5原則を作成し、其の順守と推進のお願いをしております。また試合開始前の挨拶として、相手に敬意を表し握手を交わすことを推進しております。選手の皆さまはテニスの向上と共にこのフェアプレイ精神を高めていただきたいと思います。

最後になりましたが、大変お世話になっております中国テニス協会、広島県テニス協会、広島市テニス協会の皆様に感謝いたしますと共に、引き続きご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、その他大会運営にご尽力頂いております皆様に対しまして心からお礼を申し上げます。